

令和7年度 岡山県学力・学習状況調査結果の概要

I 調査の実施状況

(1) 調査の目的

- 児童生徒の学力及び学習の状況を把握・分析して指導の成果と課題を検証・改善する。
- 調査結果に基づき個々の児童生徒が自らの学習等の改善に資する。

(2) 調査実施日

令和7年4月17日（木）

(3) 受検者数・受検校数・実施教科等

※質問紙は県独自調査

	県受検者数（受検校数）	全国受検者数	実施教科等
小学校第3学年	8,793人（264校）	約7万人	国語 算数
小学校第4学年	8,756人（263校）	約8万人	国語 算数
小学校第5学年	9,119人（268校）	約10万人	国語 算数 質問紙
中学校第1学年	8,852人（113校）	約7万人	国語 数学 英語 質問紙
中学校第2学年	8,557人（114校）	約9万人	国語 数学 英語 質問紙

2 学力調査の結果

教科・学年別標準スコア

全国の平均正答率を50（全国値）としたときの換算値

	国語					算数・数学					英語	
	小学校			中学校		小学校			中学校		中学校	
	3年	4年	5年	1年	2年	3年	4年	5年	1年	2年	1年	2年
R7	50.9	50.7	49.5	49.9	49.4	49.9	49.7	48.5	50.2	50.0	49.4	49.4

- ・ 小学校は、3・4年国語で全国値より高く（○）、その他の学年・教科は全国値より低い（▲）。
- ・ 中学校は、1年数学で全国値より高く、2年数学は全国値と等しい（○）。その他の学年・教科は全国値より低い（▲）。

3 学習状況（質問紙）調査の結果（岡山県独自の調査のため、全国平均との比較はない。）

(1) 夢育

- ① 将来の夢や目標を持っている。（夢・目標）
- ② 自分には、よいところがあると思う。（自己肯定感）

《①「当てはまる」と回答した割合〔%〕、②肯定的回答割合〔%〕》

	小学校5年		中学校1年		中学校2年	
	夢・目標	自己肯定感	夢・目標	自己肯定感	夢・目標	自己肯定感
R7	72.0	84.3	63.4	84.2	46.0	84.0

- ・ 夢・目標の「当てはまる」と回答した割合は、学年が上がるにつれて下降している（▲）。
- ・ 自己肯定感の肯定的回答割合は、全ての学年で80%以上であった（○）。

(2) 授業理解

- ③ 国語の授業の内容はよく分かる。(理解度 国語)
④ 算数(数学)の授業の内容はよく分かる。(理解度 算数・数学)

《肯定的回答割合〔%〕》

	小学校5年		中学校1年		中学校2年	
	理解度 国語	理解度 算数	理解度 国語	理解度 数学	理解度 国語	理解度 数学
R 7	86.9	84.5	88.5	82.6	88.1	78.8

・理解度の肯定的回答割合は、中学校2年数学以外の学年・教科で80%以上であった(○)。

(3) 学びに向かう力

- ⑤ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。(自己調整力)
⑥ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。(主体的な学び)
⑦ 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。(対話的で深い学び)

《肯定的回答割合〔%〕》

	小学校5年			中学校1年			中学校2年		
	自己調整力	主体的な 学び	対話的で 深い学び	自己調整力	主体的な 学び	対話的で 深い学び	自己調整力	主体的な 学び	対話的で 深い学び
R 7	70.3	75.1	83.7	69.8	76.3	82.2	63.5	74.6	83.9

- ・自己調整力の肯定的回答割合は、学年が上がるにつれて減少している(▲)。
・主体的な学びの肯定的回答割合は、全ての学年で70%以上であった。
・対話的で深い学びの肯定的回答割合は、全ての学年で80%以上であった(○)。

(4) ICT機器の活用

- ⑧ 授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

《「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上～月1回未満」と回答した割合〔%〕》

	小学校5年			中学校1年			中学校2年		
	ほぼ毎日	週3回 以上	週1回以上～ 月1回未満	ほぼ毎日	週3回 以上	週1回以上～ 月1回未満	ほぼ毎日	週3回 以上	週1回以上～ 月1回未満
R 7	30.0	29.8	39.6	39.6	28.0	32.0	32.7	36.8	30.2

・「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した割合を合わせると、全ての学年で55%以上であった(○)。